

Hiab method

カスタマーマガジン 2012 年第 2 号

Hiab クレーンは、
オーストラリアの
鉱山事業を後
押しします **30**



8 MEWP により、重い物を持ち上げるのが簡単に見えます

18 カレリア（ロシア）での木材の採取

34 イタリアでの 50 年間の協力

目次

- 03 Axel Leijonhufvud は新しい荷役戦略に光を投げかけています
- 04 カーゴテック概要
- 05 世界中のニュース
- 08 Hiab の MEWP は、より多くのビジネスをもたらし、手間を減らします
- 12 軽量クレーン範囲への MEWP の導入
- 14 Cargotec の荷役業務の物語
- 18 Hiab Loglift クレーンはロシアカレリアの森に慣れ親しんでいます
- 22 Pro Future™ デモトラックを試験します
- 26 トラック搭載フォークリフトを維持するためのヒント
- 27 リーン生産方式は、真の顧客の利益をもたらす
- 30 鉱業ブームがオーストラリアの事業を牽引します
- 34 Cera ファミリーはイタリアで Hiab を選び続けます



08

Hiab ソリューションの 強力かつ長い歴史

14



22



27



はじめに



ゴールデンパートナーシップ

当社は、お客様とたくさんの仕事をしてきました。50 年以上にわたって当社と仕事をされてきたお客様もいらっしゃいます。それが結婚だったら、金婚式を祝うことになります。

つまり、ベルリンの壁ができて、それが壊されるまでの期間をご一緒したことになります。オーディオカセット、BASIC（コンピュータ言語）、CD、コンタクトレンズ、マイクロプロセッサ、ビデオカセット、ポストイットメモ、レーザープリンタ、自動車電話、携帯電話、プロザック、ハイビジョンテレビ、ワールド・ワイド・ウェブ (WWW)、セグウェイ、iPhone、タブレット、Google、YouTube などの発明を見てきました。

そして、今、Facebook に投稿してツイートすることができます。

周りの世界が変わったのと同じように、当社製品も変わりました。ケーブルリフトにおいて、当社が特許を持つ、世界最初のナックルブームクレーンと脱着ボディシステムが発売されました。当社は、ローダークレーンの電子監視システムおよび林業クレーン用 TimberTronics 制御システムを開発しました。これらは、VSL（クレーンの安全性と安定性の先駆者）であり、トラック搭載フォークリフトの取付け / 取外しのための世界初のリモートコントロールであると同時に、世界初のリチウムイオン駆動のトラック搭載フォークリフトでもありました。そして、丁度、当社のエネルギーと環境の効率性のフックリフトを表す Pro Future™ の時代に入りました。

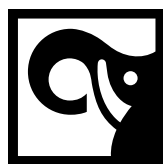
その時代を通じて不変のものは多くはありません。その中の一つが信頼の上に成り立つ関係です。

Hiab 社は、お客様のニーズから設立されました。当社には、お客様と協力し、真のニーズに対するソリューションを見つけてきた伝統と経験があります。当社は、お客様の満足度とお客様の役に立つために当社が何をすべきかを常に自分自身に問い続けることで、路上荷役部門におけるリーディングカンパニーになることを目指します。それは、決して変わることはありません。

Axel Leijonhufvud
荷役事業部門長



Hiab は停泊地の貨物取扱いのソリューションで国際的な主要ブランドです。提供する製品には、Hiab ローダークレーン、Hiab Loglift および Hiab Jonsered 林業クレーンとリサイクリングクレーン、Hiab Multilift 脱着ボディシステム、Zepro、Waltco、Focolift および Del などのテールリフト、および Hiab Moffett ならびに Princeton PiggyBack® などのトラック搭載フォークリフトがあります。



CARGOTEC


HIAB


KALMAR


MACGREGOR


カーゴテックは、陸上、海上を問わず、貨物が移動する所ならどこでもその流れを改善しています。

カーゴテック子会社のブランドである Hiab、Kalmar および MacGregor は、世界中で貨物および貨物取扱いソリューションのリーダーであると認められています。

カーゴテックの国際ネットワークは顧客近くに位置し、継続的で、信頼でき、持続可能な機器性能を保証する広範なサービスを提供します。

当社の従業員数は、10,500 人です。

www.cargotec.com

重要な数値	Q1-Q2/2012	Q1-Q2/2011	2011
受注 (100 万ユーロ)	1,629	1,580	3,233
注文控え帳 (100 万ユーロ)	2,413	2,306	2,426
売上高 (100 万ユーロ)	1,643	1,558	3,139
営業利益 (100 万ユーロ)	78.7	104.6	207.0
営業利益率 (%)	4.8	6.7	6.6
営業活動によるキャッシュフロー (100 万ユーロ)	-27.8	71.6	166.3
純有利子負債残高 (100 万ユーロ)	497	335	299
1 株利益 (ユーロ)	0.90	1.28	2.42

360°

ユーザーフレンドリーな TimberTronics を伴う新しいキャビン

カーゴテックの新しい、より広々とした Hiab キャビン C912 は、今までよりも広いビューと優れたユーザー快適性を提供します。また、カーゴテックは、新しいオプションである、統合された計量と迅速なトラブルシューティングを搭載し、かつ、オペレータープロフィールをカスタマイズして使用する TimberTronics 制御システムを提供しています。新製品は、全ての Hiab Loglift と Hiab Jonsered 林業クレーンで利用できます。

Hiab キャビン C912 の改良版は、ユーザーの利便性を最優先課題として設計されています。新しいキャビンは、以前のモデルよりも広々としており、クレーンの運転手に荷揚げ時に全方向にクリアで、妨げるものがない視界を提供する非常に大きな窓を備えています。運転手は、貨物を置く場所を直ぐに見つけることができ、サイクルごとに時間を節約できます。より良い視認性は、安全性の向上も意味します。つまり、接近する車両が見やすくなります。すべてにおいて、Hiab キャビン C912 は、荷揚げ作業の効率性を高めます。

「このキャビンには十分な空間があり、全作業領域をしっかりと見渡すことができます。また、座席は非常に快適で、操縦装置に簡単に手

が届きます」と Ismo Viitanen 氏（フィンランドの運送会社 P.O. Viitanen Ky のオーナーであり、かつ、フィールドテストドライバーの一人である）は述べています。

サービススタッフは、キャビンの油圧バルブやホースに簡単に手が届くことを高く評価しています。これにより、保守作業がスピードアップし、ダウンタイムが短縮されます。

TimberTronics 電子制御システムは、さらにキャビンの使いやすさを向上させ、電子制御を選ぶ人のために多くの改善をもたらします。各オペレーターの独自の運転スタイルに合わせて、様々な油圧アクションを調整することが可能になりました。たとえば、オペレーターは、初期旋回速度を下げるか、または、ブームの延伸動作を収縮動作より速くさせるかどうかを選択することができます。調整は、キャビンに搭載されたディスプレイ上のいくつかのキーを押すだけで行うことができます。数人のオペレーターが同じクレーンを使用する場合、TimberTronics は、各ドライバーが自分の個人的な好みに応じて、独自のユーザープロフィールを作成して設定を保存し、それによってクレーンを操作することができます。

もう一つの新機能は、トラブルシューティン



グです。問題が発生した場合は、サービススタッフは、PCに接続するだけで、故障診断ソフトウェアを実行できます。制御システムは、統合された計量を提供しており、オペレーターは、いつでも扱っている荷重の重さを確認することができます。

また、制御弁インレットは、固定または可変容量ポンプ用の統合セレクトを内蔵しており、様々な車両の上でクレーンを簡単に使えるようにしています。



新しいキャビンは、以前のモデルよりも広々としており、クレーンの運転手に荷揚げ時に全方向にクリアで、妨げるものがない視界を提供する非常に大きな窓を備えています。



多くの人々が、緑石を迅速かつ経済的に移動しようとしていました。0.5リットルごとに印を付けたガラスびんが、ディーゼルタンクの代役をしました。

Elmia Lastbil 2012 で、エネルギーに焦点を当てる

カーゴテックが、スウェーデン全土から 120 のお客様を招待した Elmia Lastbil 2012 展示会のスタンドでレセプションを開催した時、燃費が議題のトップでした。それは、とりわけスウェーデンのラリーの女王である **Tina Thörner** の登場で人気を博したイベントでした。彼女が長年にわたって競ってきたイベントでは、燃料節約は二の次だったと彼女は言います。「運転を優先するため、車は煙をまき散らします!」

Hiab ローダークレーンの製品マネージャである **Bengt Söderholm** は会議の冒頭で、運転手は可変ポンプの助けを借りて燃料消費量を減らすことにより、多くのお金を節約する方法を示しました。

「166 HiPro クレーンを 1 日数時間集中的な

スクープなどの操作を通常使用すると、節約額は、年に約 2,900 ユーロになります!可変ポンプを選択することで、1 年以内に投資を回収することができます」。

Söderholm は、クレーンを使用するときエネルギーを必要とする理由とどの圧力と流量がランニングコストを意味するかを説明しました。運転スタイルが重要な要因であり、競争を好む人はこれを自分自身でカーゴテックのスタンドで試すことができました。サービスチームリーダーである **Torgny Magnusson** の監督の下、訪問者は、経済的かつ迅速に荷物を移動しなければなりません。彼らが操作する数分の中で、運転スタイルの差により、最大 0.5 リットルの差がありました。

全体的には、展示会には 38,000 人が来場し、新しい Hiab Multilift XR18SL ProFuture と新しい TimberTronics 制御システムを搭載した Hiab キャビンがデビューしたカーゴテックのスタンドは、ほとんどの時間人で一杯でした。

グローバルリソースは、現地のニーズを満たします

「高い木は、上から下に育つものではなく、根元から上に育ちます!グローバルレベルでの成功は、地方レベルでの成功の上に構築されます」と **Ismo Leppänen** (カーゴテック英国の常務取締役) は述べています。

英国に拠点を置くチューダー・グリフィス・グループの有機的成長の典型的な例の経験よりも、良い例示は世界中どこにもありません。1870 年代にささやかな事業を始めたチューダー・グリフィスは、イングランド西部の北シュロップシャー地域で建築材料および関連サービスを着実に拡大し、その分野のリーディングサプライヤになりました。採石業、骨材、生コンクリート、廃棄物リサイクル、電気工事、農業、漁業、レジャー、保全などのポートフォリオを持つグループは、現在、グリフィスファミリーの第五世代によって管理されています。

所有する約 200 台の車両には、コンクリートミキサー、チップトラック、貨物自動車に取り付けられたクレーン、車両や貨物自動車に取り付けられたフォークリフトを扱うスキップ、各種バン、車および移動機械設備が含まれます。



「当社の全トラック荷役ソリューションは、Hiab のスタッフグループから提供されます。つまり、Hiab 貨物自動車取付けクレーン、Hiab Multilift ケーブルリフトとフックリフトコンテナ処理システム、および、Hiab Moffett トラック取付けフォークリフトを使用しています」と、グループの輸送マネージャである **Jamie Jones** は述べています。「当社にとって、機器を 1 日 24 時間、週 7 日間利用可能であることが重要です。これは、当社が大規模な組織 (Hiab 社がそうであることは、疑いの余地がありません) の人材により支えられたグループ名が付いた装置の信頼性を必要とすることを意味します」。

しかし、市場における主導的地位を絶えず追及するには、機器の機能や安全性も重要な要素です。「TG グループはいくつかの理由のための Hiab に決めました」と Jones は述べています。「一つの要因は、近くにローカルデポがあることでした。また、安全機能は当社が調査した中で最高です。そして、当社が、価格、実績のあるサービスと優れた仕事上の関係 (当社は、1980 年に最初の Hiab クレーンを購入しました) を考慮した結果、Hiab から買い続けるという決定は、ほとんど形式的行為でした」。

360°

ダンドーク工場における主要なランドマーク

2012年9月、ダンドークに拠点を置くカーゴテックアイルランド組立ラインでの50,000番目のトラック搭載フォークリフトは、カーゴテックの素晴らしい生産ランドマークとなりました。

40年以上前の発明以来、Hiab Moffettトラック搭載フォークリフトは、世界中の企業により速く、より安全に商品を届けることを可能にする、輸送革新の代名詞となっています。これらのフォークリフトのオフロード機能は、特に、それらを使用する企業にとって、ユニークな機能であり、かつ、重要な差別化要因です。

Dundalk工場は、35カ国以上に輸出されているマシンを生産するトラック搭載フォークリフトの研究、開発、生産のための卓越したカーゴテックの中心地です。「カーゴテックのトラック搭載フォークリフトは、その高度な技術、品質と信頼性で知られています」と、

Michael O'Reilly (Hiab Moffettトラック搭載フォークリフトの製品マネージャ) は説明します。「当社の広範な製品範囲は、すべての用途の要件に合わせたマシンを提供しています」。

「トラック搭載フォークリフト技術のリーダーとしてのカーゴテックアイルランドの位置は、そこで働く人々に多くの部分を依存しています」と、彼は付け加えます。有能なエンジニアと献身的な労働力が、ユニークで、常に変化するお客様の要求に合わせて製品を開発するために役立っています。50,000番目のトラック搭載フォークリフトの生産は、印象的な成果です。最初のトラック搭載フォークリフトが1967年に生産されて以来、貢献してきた全員の専門知識と献身なしでは不可能だと思います」とO'Reillyは述べています。



ドイツにおける成功

カーゴテックドイツは、2012年9月、ハノーバーで開催された第64回IAA商用車展示会に参加しました。IAAは、モビリティ、運輸および物流の世界有数の見本市であり、ほぼすべてのサプライヤーとメーカーを引き寄せます。それは、付加価値連鎖全体を包含し、かつ、良いビジネスのための最高の条件を提供する商用車業界の全体を代表する世界で唯一のモビリティフェアです。

「カーゴテックは、近代的な荷役装置を発明した先駆的な会社です」と、カーゴテックドイツ中欧エリア担当取締役 Thomas Koskimaa は述べています。「フューチャードームの訪問者は、当社が荷役の将来であることを確認できました。当社の製品は、環境に配慮しながら効率性と安全性の面で最高の顧客価値を生成します。例として、IAAで、当社は、市場で最初の電子フォークリフトであるHiab Moffett E2をプレビューしました」。

「私は、車両を私
が望む方向に正確
に配置し、私が到
達する必要がある
ところに到達できる
ことを保証すること
ができます」。



重いものを持ち上げることが簡単に思えるようにします

クレーンバスケットの組合せに対する需要が、スウェーデンの都市エーレブローを驚かせています。

文 Risto Pakarinen 写真 カール・ゴッテック
Sebastian Söderlund は、あっという間にエーレブロー（スウェーデン）で最も人気あるクレーンオペレーターになりました。彼は作業をうまくこなすだけでなく、Hiab HiPro クレーンと MEWP (Hiab モバイル昇降作業プラットフォーム) を装備するトラックのハンドルの後ろにいます。

人口約 11 万人、首都ストックホルムから西に自動車ですぐ 2 時間の距離にあるエーレブローには、人員用つりかごに対する驚異的に高い需要があります。実際、昨年 8 月、市の技術部門が MEWP 付き Hiab HiPro ローダークレーンを取得することを決定したとき、彼らはそのことを予想していました。

「我々は、工事現場用の標識設定から、市の公園の仕事まで、常に異なる種類の仕事があります」と、Söderlund 氏は述べています。

「MEWP システムは、我々にスカイリフトを借りるよりも、より多くの柔軟性を与えてくれます。私はとにかく運転しており、本当に緊急の場合、私は 10 ～ 15 分で現場に行くことができます。それにより私は引っ張りだこになり、それだけで素晴らしいことです」と、彼は付け加えます。

柔軟性が鍵となります

Söderlund の Hiab XS 144 クレーンは 14 メートルに到達します。一方、XS 166 は、ブーム角度 70 度で最高 20 メートルに到達します。これは、あなたが 1 分間で重い荷重を遠くに運搬し、次に、20 メートルの空中で保守を行うことができることを意味します。

MEWP は、新しいものではありません。それは、数年前から出回っており、実際、エーレブローは、前バージョンを所有しており、彼らは、何を期待し、何を取得できるかについて知っていました。

「しかし、これは新しいモデルです。これは、前バージョンの更新 / 改良バージョンであり、完全自動化されています」と、Söderlund は述べています。

クレーンは、ローダークレーンに使用される EN 12999 規格に完全に準拠しています。つりかごに対する安全要件は、EN 280 で設定されています。また、その操作性の質を確保するために外部監査を使用しています。

「典型的な顧客は、自身の事業に多くの柔軟性を追加するために探している起業家です」と、Bengt Söderholm（カーゴテックススウェーデンの製品マネージャ）は述べています。

「彼らにとって、人員用つりかごは大きな追加なのです。彼らは大抵小さな

会社ですが、より大きい艦隊となり、MEWP 装備のトラックから恩恵を受けることになります」と、彼は付け加えます。

安全は最優先事項です

クレーンモードから MEWP モードへの切替は容易です。それは、パチンとはじくだけです。キーを回すだけで、手品を行います。

「私は、クレーンモードから MEWP モードに特殊なマニュアルキーで切り替えます」と、Söderlund は述べています。



「オペレーターは、常にすべてが安全に操作されていることを感じるようになります」。

Hiab HiPro クレーンは、何よりもまずクレーンであり、その目的のために最適化されています。しかし、それが切り替わり、モパイル昇降作業プラットフォームになると、特定の変更が発生します。

「MEWP モードで使用する場合、通常のクレーン速度は低減され、EN 280 で許可される最大速度である鉛直速度 0.4 m/s で移動します」と、Söderholm は述べています。

「オペレーターは、常にすべてが安全に操作されていることを感じるようになります」と、彼は付け加えます。

そして、安全性が非常に重要であるため、MEWP はこのことを念頭に置いて設計されています。そのソリューションには、つりかごの自動水平レベリング、クラッシュからそれを保護するための外部安全柵、つりかごの内部に取り付けられたバッテリー充電器とバックアップバッテリー、垂直方向および回転速度制御、人員用つりかご内の個別の緊急停止押しボタンを含みます。

「つりかごは規制に従って、5 度以上傾けてはいけませんし、すべてが完全に自動化されています」と、Söderholm は述べています。

ポンプ操作で地上に降りる

また、MEWP は、スタビライザおよびスタビライザの拡張が正しい位置に完全に伸びていることを確認するシステムを装備しています。スタビライザ上に接地を最大化するための旋回指示板、および、たとえば電力喪失などに備えて緊急低下装置と手動緊急ポンプを装備しています。

HiPro リモート制御システムを使って、オペレーターは、オンロードまたはオフロードでの安全性を維持するために良い視界のある位置を選択することができます。

「私は、車両を私が望む方向に正確に配置し、私が到達する必要があるところに到達できることを保証することができます」と、Söderlund は述べています。

「車両の電力切れ、または、予期せぬ何かが起こった場合、私は、常に手動でポンプを操作することにより、つりかごを地上に降ろすことができます。しかし、今ま

でにそのようなことは起こっていません」と、彼は付け加えます。

ゆっくり、慌てずに

Söderlund は、たいいてい自分自身でクレーンと車両を操作していますが、人員用つりかご自体は、2 人用かつ 2 人用のツールとして設計されています。

「大工、電気技師、または、建設会社は、事前に人員用リフトを予約し、それを運転する必要があります。しかし、あなたに私のような知り合いがいた場合、私に少しの空き時間があれば、私はそこに出向き、リフティングを行うことができます」と彼は、エーレブルー市は、彼らが当初予想していたよりも、多くの仕事を MEWP に対して割り当てていることを付け加えながら、述べています。

「市民は、市内を走り回る私を目撃し、クレーンやつりかごがどのように使い易いかを確認しています」と、彼は語ります。

それが、Söderholm を幸せにしています。

「それこそが、私たちが努力しているものです」と、彼は述べています。■



MEWP に関して新しいことは何ですか？



文 Johanna Kippo

Transgruma は、クレーンのレンタルサービスに特化したスペインのマドリッドに拠点を置く家族経営の会社です。スペインは深刻な経済危機に苦しんでおり、かつ、建設部門の大部分が破産に向かっているため、**Ismael Aguado Expósito (イスマエルアグアドエスポイト)** のリーダーシップの下で同社は、新しい顧客を引き付けるために、広い範囲のクレーンサービスを提供しようとしています。その目的のために、Transgruma は、2 台の Hiab XS MEWP クレーンを同社のラインアップに追加しました。

なぜ、Hiab MEWP クレーンなのですか？

当社は、顧客ニーズに応じて多機能サービスを提供できるようにしたいと考えていました。当社顧客は、以前のように幅広く製造業および建設業から来なくなりました。したがって、当社は、現在、たとえば、ガラス窓、街灯および送電線を設置するために使用するクレーンを提供しています。

主要な利点は何ですか？

当社は、当社事業の主要な資産として安全性を考えています。今日でも、スペインの多くのクレーンレンタルサービスは、欧州安全規則に従っていないので、当社は、すべての緊急事態を処理し、かつ、どのような状況下でも、マシンオペレーターを救うことができる装置を提供できるようにしたいと考えていました。Hiab は、この機能を当社に提供し、そして、当社を顧客にこの種のつりかごを提供するリーダーの一つにしてくれました。

新しく、ユニークなものは何ですか？

当社の降下装置、手動ポンプおよび改良された安定化システムを含む安全機能および幅広い緊急機能の提供において、並ぶ者はありません。つりかご内の緊急停止は、突然の動きやその他の危険な状況がある場合に即座にマシンを停止する際に重要なコンポーネントです。また、手動システムよりも操作が簡単なつりかごに対する自動水平ベラーを装備しています。

どのように Hiab XS MEWP は、安全性を改善しているのですか？

それは、作業者を上昇させるためのより適切なクレーンであり、かつ、つりかごに対する速度制御が装備されています。この安全機能は、毎秒 0.4 メートルに制限速度を設定することにより、加速時のヒューマンエラーを修正し、そして、クレーンを不安定化し、オペレータを危険にさらす可能性がある急な動きを停止します。

Hiab が理想的な選択であるのはどのような時ですか？

Hiab XS MEWP は、電力線および通信線の設置と保守、橋の点検などの業界、建設および維持管理に使用するのに理想的です。スポーツイベントおよび歴史的建造物を復元するための起立スタンドとして遠く離れた分野で優れた選択肢となります。

カーゴテックの高性能 HIPRO システムおよび MEWP システムを導入すれば、軽量クレーンは柔軟性と機能性を拡張することができます。これは、この種のアプリケーションを待っている少数ながら重要なお客様に対する答えです。

HiPro および MEWP 軽量クレーン用

カーゴテックが、数年前、Hiab モバイル昇降作業台 (MEWP) を立ち上げたとき、HiPro システムを所有し、中容量クレーンを使用している顧客を対象としていました。

「典型的な MEWP の顧客は、自身の事業に多くの柔軟性を追加しようとしている起業家です。彼らは大抵小さな会社ですが、保有車両が多い会社でも、MEWP 装備のトラックから恩恵を受けられます」とカーゴテックスウェーデンの製品マネージャーである

Bengt Söderholm は述べています。

「HiPro からは、速度、精度、滑らかな制御を感じます。この 10 年間、当社は、お客様に多くを提供する『完全』なクレーンを提供してきました。当社はそれを HiPro と名付け、それは大ヒットとなりました」。

Hiab XS 077-099 クレーンのユーザーにとって残念なことに、そのモデルは、HiPro および MEWP を装備していませんでした。

より大きな容量で、より精度良く

Hiab 社は、現在、軽量クレーン部門に対して新しい MEWP ソリューションである Hiab クレーン XS 077 ~ XS 111 を導入しています。

「過去において、当社が、軽量クレーンに対し提供することができる最も洗練されたシステムは、HiDuo でした。しかし、現在、制御システムおよび電子機器を変更し、XS 077 ~ 099 クレーンを HiPro にアップグレードしました」と Hiab 社軽量クレーン製造マネージャーである **Johan Dunnink** は述べています。

「それは、クレーン大きな容量とより高い精度を提供し

ます。また、お客様に追加アプリケーションとして MEWP を使用する機会を与えます」と彼は付け加えます。

クレーンは、ローダークレーンに適用される EN 12999 規格に完全に準拠しています。

MEWP は、つりかごの自動水平レベリング、クラッシュからそれを保護するための外部安全柵、つりかごの内部に取り付けられたバッテリー充電器とバックアップバッテリー、垂直方向および回転速度制御、人員用つりかご内の個別の緊急停止押しボタンを含みます。

また、それは、スタビライザーおよびスタビライザーの拡張が正しい位置に完全に伸びていることを確認するシステムを装備しています。スタビライザー上に接地を最大化するための旋回指示板、および、例えば、電力喪失などに備えて緊急低下装置と手動緊急ポンプを装備しています。つりかごに対する安全要件は、EN 280 規格で設定されています。

特定のニーズへの答え

Dunnink によると、顧客の特定の部門は何年も前からこのようなソリューションを待っていたそうです。

「それは巨大な市場ではありませんが、この需要は特にノルウェーとドイツにあります。ノルウェーでは、石油業界がこれに興味を持っています。そして、ドイツでは MEWP は、たとえば道路工事で使用され、道路清掃車を補完しています」と Dunnink は述べています。

「ドイツでは、高速道路の仕事をすると、小さな作業プラットフォームを採用し、道路清掃車を使用しています。MEWP を使用して、同じ車両を複数タスクに割り当てることができ、それは、あたかもワンストップショッピングです」と彼は付け加えます。

道路清掃車は、さらに機能を拡張して、レール上でも使用することができます。

クレーンが HiPro システムを装備すれば、MEWP に近づきます。確かに、HiPro クレーンを所有することにメリットはあります。「クレーン操作は、より高度化され、可変ポンプを使用する際にディーゼル消費量が優れています」と Dunnink は述べ、古いクレーンの改造はおそらく実現可能な代替手段をつくるよりも高価であることを認めています。

新しいチャンスの眺望

「当社は、過去において、軽量クレーンに HiPro を装備していませんでした。なぜなら、顧客は、そのようなハイエンドのステアリングシステムを装備することにより感じられる価値が、実際のクレーンの利点に一致すると考えていなかったからです。しかし、新しいチャンスとともに、それは理にかなうようになりました」と Hiab 社スウェーデンの Hiab ローダークレーンマーケティングマネージャーである **Christine Ådland Holmström** は述べています。

「そして、HiPro が MEWP への扉を開くという事実は、軽量クレーンやモバイル昇降作業プラットフォームを必要としている起業家のための良いケースを作ります。それは、新しい機会を開き、より多くを行うことができます」と彼女は付け加えます。

軽量クレーン用 HiPro は、現在ここにあり、Dunnink は、それは素晴らしいことであると言います。

「軽量クレーンにとって、HiPro および MEWP への大きな一歩です。次の段階は、プログラムを開発することです。それは、当社が一步一步やるべきことです」と彼は結論付けています。■



最初の Hiab MEWP は、Transportindustri Norway によって Bindal Kraftlag に納品されました。

Transportindustri AS は、Hiab クレーン、フックリフト、および、雪ブラウを装備する多機能トラックを北部ノルウェーに供給しています。また、毎年、検査、認証、修理および保守サービスを提供しています。

Bindal Kraftlag は、地域の電力ネットワークを構築し、維持しています。

荷役の過去 と未来

スキー工場に森から木材を運ぶのに苦労した
スキーメーカーが現代の油圧クレーンを発明
したことをご存知ですか？ もし、ご存知でない
場合は、お読みください。これは、Hiab が
今の Hiab にどのようなになったかに関する物
語です。

文 Risto Pakarinen 写真 Janne Lehtinen (カーゴテック)





カーゴテックの Hiab ソリューションの歴史は、古代ギリシャに遡りませんが、20 世紀の初め、**Eric Sundin**（1900 年にストックホルム北部 Arbrå で誕生）により始まります。

近隣のブルネスでの研究を終えた後、彼は故郷に戻り、父親の小屋でスキーを作り始めました。小屋が全焼すると、27 歳の起業家は少し北のフーディクスバルへ彼の事業を移し、取入れました。



スキーマーメーカーとして、Sundin は成功しました。彼の注文控え帳は一杯になり、5 年後に、彼は工場を建て、事業を拡大しました。数年後、彼は化学工場を買収し、ラミネートスキーを作り始めました。

そのため、彼は油圧ジャッキと油圧プレスが必要としていました。そこで彼は、それらを製作しました。

木を伐採するために、彼は、トラック用の油圧クレーンを必要としていました。そこで彼は、それらを構築しました。

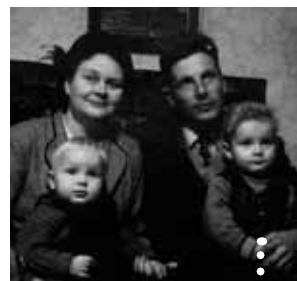
そのクレーンは、非常に良くできていたので、他の人もそれを欲しがりました。

ケーブルリフトが生まれました

1944 年、Sundin は、Hydrauliska Industrier AB（油圧工業株式会社）を設立しました。1946 年、Hiab は、トラックのエンジンによって動力を供給される最初のクレーンを売り出しました。そして、1950 年代、同社

製品の半分は輸出されていました。

一方、フィンランドのバルト海を越えて、**Terho** 兄弟、**Mikko**、**Mauno** および **Matti** は、木材を輸送していました。彼らもまた、それがいかに面倒で時間がかかるということに気づいており、その仕事に対するより良いソリューションを探そうとしていました。



彼らの発明は、後に「取外し可能」プラットフォームとして知られる機械的なケーブル駆動の交換プラットフォームローダーでした。本体が地面に下がり、その後、木材が完全にトラック上に持ち上げられます。彼らは、その発明をケーブルリフトと呼びました。そして、彼らの会社を Multilift を呼びました。

トラック搭載のフォークリフトのリーダー

Cecil Moffett は、1945 年アイルランドに小さな家族経営のエンジニアリング事業を設立しました。Moffett Engineering は、

顧客重視の強力な基盤とイノベーションの文化上に構築された成功物語に変わりました。今日、カーゴテックの一部である Hiab Moffett は、トラック搭載フォークリフトの ▶



Eric Sundin、スウェーデンに Hydrauliska Industri AB を設立

Terho 兄弟の特許 — フィンランドにおける最初の機械式ケーブル操作交換可能プラットフォームローダー（ケーブルリフト）

1944

1945

1947

1949

Cecil Moffett は、農家用特殊用途機器の製造を開始し、Moffett Engineering を設立

Terho 兄弟 Multilift を設立

「カーゴテックの戦略は、顧客満足度の観点から路上荷役部門における主要なプレーヤーになることです」。



市場リーダーです。

Moffett、Sundin および Terho 兄弟は主要な革新者でした。彼らはまた、新しい発明のための必要性を認識し、それらを作成する方法を発見した先駆者でした。本質的に、彼らは自分自身の最初のお客様でした。Sundin は、スキー製造のための油圧クレーンを必要とし、Terhos は、木の伐採でそれを支援しました。彼らは本当に誰よりも彼らの顧客とそのニーズを知っていました。

「Hiab は、Sundin と彼のスキー、そして Terhos とともに顧客ニーズに基づいて設立されました。当社には、お客様と協力し、真のニーズに対するソリューションを見つけてきた伝統と経験があります」と、**Lotta Clausen**（荷役部門通信担当取締役）は述べています。

「当社は、長期間にわたり存続し続けてきましたが、顧客ニーズと市場要件を満た

すことに尽力しています」と、彼女は付け加えます。

顧客の信頼を勝ち取る

「カーゴテックの戦略は、顧客満足度の観点から路上荷役部門における主要なプレーヤーになることです」と、**Axel Leijonhufvud**（カーゴテックの荷役事業部門長）は述べています。

「満足した顧客は、当社が正しいことを正しい方法で行い、かつ、正しいことに焦点を当てていることを示す最も重要で唯一のシグナルです。当社が自分自身に問うべきすべての質問は、当社の仕事がいかに顧客を助けることができるかです」と、彼は付け加えます。

これは、最初に成功をもたらす意思決定を行うための勇気の長い伝統であり、顧客が何を欲し、何を必要とするかを発見する好奇心

最初の Jonsered ログローダー

最初の Fiskars クレーン（ログリフトになる）

1977

Partek Multilift を購入

1986

最初のトラック搭載フォークリフト

Partek ログリフトを購入

1988

1960 年代

1970 年代

Hydrauliska Industri は Hiab になり、象のロゴの使用を開始

1985

Partek が Hiab を買収

1989

EricSundin の会社はスキーの製造を中止



でした。その伝統は、カーゴテックが抱き続けてきたものです。

当社は、顧客の信頼を勝ち取りたいと願っています。つまり、顧客が、当社の製品は使い易く、動作し、サービスは迅速で利用可能であることを知り、本当に当社を頼ることができることに気づいて欲しいと考えています。当社は、世界のその分野でトップになりたいと考えています」と、Clausen は述べています。

グローバルネットワークを介するローカルサービス

荷役部門も、市場より速く成長しようと努力しており、活動範囲の拡大を試みています。

「欧州は、当社の主要な市場ですが、当社には全世界に顧客がいます。将来を見据えた当社の目標は、当社製品が最も成長している中国、ブラジルおよびロシアでのプレゼンス

を高め、広げることです」と、Leijonhufvud は述べています。

世界的なプレゼンスは自然な選択です。結局のところ、そこには顧客がおり、そして、地球全体であり続けます。また同時に、実際には、荷役部門は広範なサービスネットワークを介してローカルで最高のサービスを提供できるように顧客と緊密な関係を保っています。

「当社は、今日提供するための準備をしておく必要があります。当社は、市場の状況および顧客のビジネス環境の変化に迅速に適應することができるパートナーになる必要があります。当社のライバルより早く行動する必要があります」と Leijonhufvud は述べています。

「当社は、それにより明らかに顧客が第一に選択するプロバイダになり、伝統の精神に立脚しながら当社の将来を構築できると確信しています」。■

中国の Sinotruk との合併事業

2012 年 7 月、カーゴテックは、CNHTC 傘下の、中国本土における大型トラックのトップメーカーである Sinotruk との合併事業の設立を発表しました。カーゴテックが 50% を所有するその合併事業には、荷役に関して、2 つの明確な目的と目標があります。

「一つ目は、Hiab クレーンをそのネットワークを通して販売することです。販売網に当社製品を組み込むことは良い方法です」と、Lotta Clausen（荷役部門通信担当取締役）は述べています。

「もう一つは、当社の製品にはなかった、トラッククレーンがあることです。当社の知識と専門知識を Sinotruk のトラッククレーンの開発にもたすことができます」と、彼女は付け加えます。

数年間の計画期間における合併事業の総投資費用は、1 億ユーロ程度になる見込みです。初年度におけるカーゴテックの推定株式投資は約 1,000 万ユーロです。

昨年、主にインフラプロジェクトおよび建設プロジェクトで使用される 35,000 台のトラッククレーンが中国で販売されました。計画では、すべての書類が整った後、2013 年に操業を開始する予定です。

Hiab は Moffett を
買収 **2000**

2005
Kone は分社化され、
Cargotec が登記される

2002
Kone は Partek を買収し、
Kone Cargotec が設立される

2012
荷役事業がカーゴテック内
独立事業分野になる

ご覧ください荷役の物語を
YouTube で!
www.youtube.com



Hiab Loglift クレーンはカ レリアを征服

Hiab 荷役機器およびカーゴテックサービスは、ロシアー
フィンランドの合弁事業を完璧にサポートしています。

文 Gleb Bogatskiy 写真 Ladsen JSC (Shutterstock)

カーゴテックは、多様で困難なロシア市場を含む新興市場に重点を置いています。カーゴテックのロシアの顧客の一つにロシアーフィンランド森林会社とフィンランドースウェーデンの林業グループ Stora Enso 社の子会社の合併事業である Ladenso JSC があります。Ladenso JSC は、現代的な森林省エネ技術を用いるウエスタン生産基地にあります。

進み続ける

同社の主な分野は、木材の採取と伐採、丸太処理および木材運搬道路の建設を含みます。同社の社員は、フィンランドで専門研修を受けたり、Ladenso で

社内研修プログラムの一環として訓練を受けています。

Ladenso は、1990 年代にロシア市場で操業を開始して、国内市場から、フィンランド、フランス、オランダ、ベルギーそして英国を含む市場向けへと製品の輸出先を拡大しました。同社の製品は、広小舞、太い木材、針葉樹、白樺パルプとポプラパルプ、パルプチップおよび原燃料に及びます。同社は、ウエスタンパートナーの基準を満たすように生物多様性保全センター (BCC) と密接に連携して仕事を行って

います。一方、主要株主である Stora Enso は、厳しい環境の持続可能性要件を Ladenso によりリース契約している森林で満たされていることを保証しています。

Ladenso は、択伐、特殊技術および操作しやすい機械を必要とする方法により、45.7% の木材の採取を Pitkäranta、Sortavala および Salmi で行っています。同社は、カット・ツー・レングス伐採技術を採用し、環境への影響を最小限化し、最も合理的な切断を確実にしています。▶

環境に対する持続可能性の厳しい要件は、Ladenso がリース契約している森林で満たされています。



「当社は、カット・ツー・レンクス（伐採から運材）で多くの丸太を収穫するので、視認性と同様に積載効率も重要です」。

「これは最適であり、このように有益です」と、**Alexey Markin** (Ladenso のテクニカルマネージャ) は述べています。「収穫機械のほとんどの生産者は、この技術に焦点を当てています」。

同社は権威ある国際コンクールで受賞しています。Alexey Markin は、理由を説明しています。

「Ladenso は、20 年以上前に共同事業として登場しました。当初から、それはフィンランドとスウェーデンにおいて、当時のスカンジナビアの最先端技術を適用しています。現在、Ladenso は Stora Enso グループに所属していますが、最も先進的な技術のみが木材産業市場の安定性を確保することは明らかです。一定の進歩の追求は、すべてのレベルで奨励されています」と、Markin は述べています。

Ladenso は、近代的な技術、人事管理および顧客管理に関して欧州企業として運営しています。

森林省エネ技術を適用することについて、Markin は次のように述べています。「当社は、長期のリーステナントです。今日、当社は当社

が 1990 年に開始したのと同じ場所に戻っています。最適な森林管理を理解することは、森林の持続可能な収穫が可能になり、道路建設などのインフラ整備に有利なビジネス慣行を推進します。

信頼性と能力が不可欠です

Ladenso は、伐採機とフォワーダなどの車輪付き機械を使用して、すべての木材を採取します。伐木機は、森林の最終段階でのみ使用されます。Markin によると、木材採取は非常に過酷な条件下で一年中続きます。その中で最も難しいのは、湿原の土壌と不安定な温度条件です。

2007 年、Ladenso は、約 20 台の伐採トラックの更新を開始しました。そして、その時、それらのトラックは、カーゴテックに変わりました。現在、Ladenso は、ボルボシャーシを搭載する Hiab Loglift 96S クレーンを主に使用しています。

Hiab Loglift 96S は、パワー、速さと効率性の最適な組み合わせのある最も人気の高いカット・ツー・レンクススクレーンです。これは、9.65 メートルのブームリーチのある 89 kNm の最大純吊り上げ能力を備えており、丸太をパイルの最も遠い端からピックアップして、トラックの後ろに積み込むことができます。

クレーンは、キャビンではなく、トップシート

を装備しています。キャンピングクレーンは、より安全で Karelia の気象条件に適しているかも知れませんが、Markin は Hiab Loglift を選択した理由を次のように説明します。「当社は、カット・ツー・レンクスで多くの丸太を収穫するので、視認性と同様に積載効率も重要です」。

Ladenso、能力、信頼性、メンテナンスの容易さにより Hiab の機械を選択しました」と、Markin は強調します。

Alexander Azarevich (カーゴテックロシア LLC の Hiab Loglift および Hiab Jonsered の販売マネージャ) は、次のように述べています。「Hiab Loglift クレーンは、毎年修理を必要としません。それらは、他のクレーンよりもやや高価ですが、その信頼性のおかげで、当社のクレーンは実際に顧客のためのコストが低くなります」。

Alexey Markin は、Hiab クレーンはこのメカニズムの維持を簡単にする다고述べています。「頻繁に部品を交換する

必要はなく、部品を交換する場合、ほとんど手間がかかりません」と、彼は強調します。

丸太の転がりを維持します

Markin は、Hiab 装置のその他の主な利点は、信頼性、能力、メンテナンスの簡単さに加えて、部品の耐久性だと指摘します。これは予

「当社は、長期のリーステナントです。今日、当社は当社が 1990 年に開始したのと同じサイ
トに戻っています」。





測不可能な天候や未整備なインフラによって、時には部品の迅速な供給が妨げられるという Karelia では重要なポイントです。

カーゴテックは、ロシアでそのサービスを改善するための新しい方法を常に模索しています。これは、フィンランドから約 50 マイル離れた Karelia であるか、シベリアの更なる奥地である場合でも、「協働」と「グローバルプレゼンス — ローカルサービス」が持続的な協力のために重要であることを証明する場所です。

Markin は次のように述べています。「当社は、最近、部品の供給が必要な多くの複雑な修理が必要となりました。カーゴテックの専門家は、タスクの要求に対処しています。しかし、部品を供給するためにかかる時間を短縮し、Karelia の部品在庫により多くの多様性を提供できるようにすることは私の願いです。当社は、油圧式クレーンおよびその維持を適切な条件で

実行していることについて、当社の関係の効率を合理化する必要があります」。

カーゴテックロシアは、ロシアおよび CIS の顧客に高品質な製品を供給するためだけではなく、販売後のフルサポートを提供するために、継続して全国各地の Hiab サービスネットワークの開発に取り組んでいます。

「当社は、スベア部品を届けるためにかかる時間に関して、顧客のニーズを満たすことは非常に重要であることを理解しています。遅滞なく顧客の要望に応えるため、当社は、サンクトペテルブルクの倉庫でスベア部品の在庫運用を築いてきました。しかし、ロシアにおける Hiab Loglift 製品に対する需要の高まりと旧 Fiskars 森林クレーン（Hiab Loglift クレーンの旧名称）の広大な公園により、一時的にスベア部品の需要が当社のスベア部品供給能力を超えるという状況が発生しました。当社はその状況を分析し、今後このような問題を回避するための是正措置をとっています。「当社は、Ladenso 社に対して貴重な意見と提案について感謝しています。それにより、当社は、顧客のビジネスニーズをより良く理解できるようにな

ります」と、**Alexander Musatov**（Hiab のロシアおよび CIS 地域担当取締役）は述べています。

過去 18 ヶ月の間に、で新しい北欧部品配送センターを、地域をサポートするために構築しました。「これには、当社が完全動作させたいと思っていたよりも時間がかかりましたが、現在では可用性の本当の改善を目の当たりにしています」と、**Mark Williamson**（荷役サービス担当副社長）は付け加えます。

顧客の幸せを維持します

機械のメンテナンスは、Petrotruckservice（Karelia の Petrozavodsk にあるボルボサービスセンター）で処理されます。

カーゴテックは、ロシア全土に多くの忠実で満足した顧客を持っています。カーゴテックは、ロシア顧客とのやり取りから学び、向上し続けています。カーゴテックは、広大なロシアを渡って移動する貨物を維持するための新しく革新的なソリューションを見つける取り組みを今後も続けていきます。■



貨物輸送能力を増やし、 燃料コストを削減する



環境とコストを節約するために Hiab Multilift XR18S Pro Future™ フックリフトと手に手をとって進むことで、カーゴテック製品の一覧に最近卓越した環境の独自のマークが授与されました。

当社は、Järvenpää（フィンランド）の工業団地内のローカル輸送デポにいます。この北の緯度で、何の変哲もないこの場所は、周辺の森林のおかげで独特の風情を持っています。昼間でも、不気味なほど静かです。

何よりも良い場所は、その後、新しい Hiab Multilift XR18S Pro Future™ フックリフトと最新機能および Hiab XS 144 HiPro ローダークレーンの複合機能を装備する旧カーゴテックデモトラックに出会いました。

2012 年の夏に顧客が購入したトラックは徹底した洗浄により綺麗になっています。すぐに、ドライバー兼オペレーターの **Joni Laitinen** は、車両フックリフトとローダークレーンが何が達成できるかを見せることで写真家を喜ばせています。

見物人は、それはおもちゃであり、Hiab Multilift XR18S Pro Future™ フックリフトが処理している取外し可能ボディではないと考えても許されるかも知れません。しかし、このかさの重いオーブントップ鋼鉄製コンテナは、空の時でも数トンの重さがあります。一方、ボルボトラックのエンジンは静かにアイドリングしており、フックリフトはその仕事

を静かに行うので、回転数を増やす必要はありません。

地元企業 KKA-Kuljetus（輸送業）で働く Laitinen は、レバーを動かすだけで、自動シーケンス制御機能を起動させます。コンテナは、わずか 30 秒で、荷卸しされ、地面に降ろされます。自動シーケンス制御、摩擦軽減機能および高速機能により、このプロセスはスムーズ、迅速かつ経済的に実行されます。高速、高速傾斜に加えて、特に革新的な高速降下機能は、再生システムの一部であり、ドライバーはエンジンの回転数を増やす必要はありません。その結果、燃料消費量を節約し、排出ガスと騒音レベルを低下させます。

小休止が、突然のエンジン音によってさらに短くなります！私たちは、トラックの空のキャビンの隣り座っています。しかし、エンジンが突然始動します。Laitinen が使用する印象的なラジオリモコンは、おもちゃではありませんが、すべての子供の夢であるに違いありません。フルサイズのリモコン制御トラックを拒否する人はいないと思います。

「これらの自動機能は極めて安全です」と Laitinen は説明します。▶





Joni Laitinen と Tom Suomela は、新しい Hiab Multilift の能力を実証しながら休憩を取っています。

ドライバーは最高のものを知っています

「Hiab は、市場で最も安いものではありませんが、あなたはお金以上のものを得られるように思えます。私たちがこれを購入してから、すべてが正常に動作しています」と、Laitinen は述べています。

「高速降下により、コンテナからトラックに物を開放し、サイクルは本当に高速なので、他とは本当に異なります。昔の方法では、同じ操作に多くの時間がかかっていました。これは私にとって最初のフックリフトであり、私は、従来のケーブル駆動システムを使ってトラックを完全にプラットフォームに合せなければならない、操作が難しい狭い空間でも非常に簡単であると言わなければなりません。

Pro Future™ 基準一覧に示す通り、業界をリードする規格は、電源、エネルギー効率、炭素効率、地域の排出とリサイクルに関する規格を満たしています、と Laitinen は述べています。

「私は、低騒音運転が本当に重要であることに気づきました。たとえば、キャabinは非常に静かで、フックリフトを使用する作業を快適にしてくれます。2トンの重量のあるガラス製の箱を持ち上げる時、Hiab HiPro XSD クレーン

のリモコン内の3つのレバーを同時に使用しており、トラックエンジンのアイドリング回転数が、荷重を移動するための油圧を処理するには十分です。私はこれとコントロールの正確さに驚きました」。

時間と環境を節約します

Hiab Multilift XR フックリフトは、新しく巧妙なボルトオンコンセプトを活用し、本体構築を簡略化しスピードアップします。基本的に、フックリフトのサブフレームは、クレーン取付の役目を果たすために十分な長さです。現在、工場から長いサブフレームと取付けプレートを供給できるので、これにより、組立作業をスピードアップ

「キャbinは非常に静かで、フックリフトでの作業が快適になります」。

します。そして、クレーンをフックリフトの穴あきサブフレーム上にボルトで固定します。また、すべてのトップコートは、工場出荷時に顧客の色で塗装されます。これにより、揮発性有機化合物 (VOC) の排出量を低

減し、設置時間を短縮します。つまり、顧客のお金を稼ぐ資産の非稼働時間を可能な限り短くします。当然のことながら、すべての顧客が自社機器の動作速度に興味を持っています。荷重の高速転換および取外し可能本体を素早く他に変更することにより、一日当たりの効率のより良い移動を実現します。

新しいトラックを取得して以来、Laitinen は様々な仕事を行えるように拡大していきました。

「当社は、ガラス原料の納品を運送することがあります。それらを、2、3トンの重量で木製の大型箱で運びます。それらを6個、取外し可能コンテナ上に同時に置きます。また、当社は、多くのフォークリフト、建設現場設備、フェンスを移動し、リサイクルコンテナおよびゴミコンテナを空にしています。[Hiab XS144 HiPro] クレーンは、優れた精度を備えています。私は、ミリメートル単位が問題となる窓の設置を吸盤を使って開始することができます」と、Laitinen は結論します。

二酸化炭素排出量を削減する、より大きな機会

フィンランドの荷役製品販売マネージャーである **Tom Suomela** には、顧客がカーゴテックの強みを何と考えているのかについて明確なアイデアがあります。「当社製品は、世界中で長年にわたる評判を勝ち得ており、顧客は、最小限のダウンタイムで優れた品質の前向きな解決策を期待しています。ここでは、当社は、再びフロントランナーであり、現在、荷役における環境価値を追求しています」。

Pro Future™ シリーズの機器は、環境性能に新たに焦点を置くビジネス環境にある顧客に特に適している将来性のあるソリューションです。フックリフトの売上の大部分は、Pro Future™ ソリューションが自然にマッチする廃棄物・リサイクル部門からやってきます。

公共部門の顧客は、下請業者に持続可能性ポリシーの下で定める基準を満たすことを要求する場合があります。これには、自治体が外注する荷役機器の二酸化炭素排出量の削減を含む場合があります。

当社がここで作業する Hiab Multilift XR18S Pro Future™ フックリフトは、二酸化炭素排出削減を念頭において設計されています。

Suomela は、このサイズのトラックには通常最大 21 トンの能力のあるフックリフトを装備して

「Pro Future™ の全体的なイデオロギーは、燃料を最適化する機能、使い易さとスピードでカプセル化されます」。

おり、トラックが法的に 15 ～ 16 トンしか運搬できない場合、ローダークレーンを装備すると、より運搬能力が低くなります。

この Hiab Multilift XR18S Pro Future™ は、十分 18 トン以上を持ち上げることができですが、同等の標準フックリフトより 500 キロ軽くなります。これは、貨物輸送能力に変換され、継続的な燃料費の削減につながります。

「各ジョブのペイロードに重要な 0.5 トンまたは 0.5 立方メートルが追加されます」とオペレーターの Laitinen は同意します。

3 軸トラック上に設置された Hiab Multilift XR18S Pro Future™ は、平均的なオペレーターの排出量と燃料消費量をおよそ 30% 削減することができます。フックリフトを 1 日 10 回使用し、それと取り付けた車両が 1 年間に 10 万キロ走行する場合、8 年間で 1 万ユーロ節約することができます。

トレンドセッター

大きなリサイクル会社と廃棄物管理会社、運送業者、自治体および州当局は、特に新しい Pro Future™ 製品の環境的側面に興味を持っています。

「Pro Future™ の全体的なイデオロギーは、燃料を最適化する機能、使い易さとスピードでカプセル化されます。結局、操作中の一酸化炭素排出量は、製造中に排出される量を上回ります」と、Suomela は強調します。■



Pro Future™ の主な利点

Pro Future™ は、環境負荷の少ない製品およびソリューションに対するカーゴテックのマークです。これらの製品およびソリューションは、電力源、エネルギー効率、炭素効率、地域の排出量とリサイクルに対する特定の業界最先端の基準に合格しています。

Hiab Multilift XR18S Pro Future™ フックリフト:

- 軽量化（比較標準品より 500 Kg 軽い）
- より大きい搭載能力で、より多くの仕事が可能
- トラックの自重を減らし、燃料消費を削減

速度

- 高速
- 高速傾斜
- 高速降下

その他の機能

- 自動シーケンス制御
- 摩擦軽減

トラック搭載フォークリフトのメンテナンス

Hiab Moffettトラック搭載フォークリフト(TMFL)が、飲料、農業、建物、ガス、リサイクルまたは過酷な家禽産業で用いられている場合、**毎日のシフト前検査**は、ダウンタイムを最小限に抑え、優れた残存価値を維持するための基礎となるものです。

「目に見える損傷、摩耗、欠落しているコンポーネント、必要な調整または性能に影響を及ぼす可能性がある異音を迅速にチェックできます。TMFLを清潔に維持することはまた、損傷の発見に役立ちます」と、**John McFadden**（カーゴテックのHiab Moffett & Princetonトラック搭載フォークリフトの製品サポートマネージャ）は述べています。

TMFLの保守要

支援が必要ですか？

販売店のサービス：

カーゴテックのワークショップまたは承認済パートナーが喜んでTMFLの保守をお引き受けします。保守の詳細は、オペレーターマニュアルを参照してください。

全所有者：

現地カーゴテック代理店が、荷物の取扱い、性能および運転訓練について喜んでアドバイスします。

件は、機器がさらされる気象条件、動作する環境、毎日の作業時間および取り付けられた特殊装備の影響を受けます。たとえば、暑い鶏舎で長時間作業し、羽根ガードを装備するマシンは、定期的な清掃が必要です。

「最も一般的な保守問題の一つは、潤滑が不十分なため、可動部品が故障することです。これは、ベアリング、ローラー、チェーンおよびブッシングでかなり早い段階で簡単に発見することができます。対処しない問題がエスカレートし、最終的には主要なコンポーネントの障害につながる可能性があります」と、McFaddenは述べています。

TMFLは、トラックまたはトレーラーの後部に長時間取り付けられているので、マシンに上ってくる路面のゴミが取れなくなり、チェーンおよびベアリングの潤滑切れを引き起こす可能性があります。

「潤滑は、主要コンポーネントの内部摩擦表面を高湿、海風または雨を伴う氷点下

の気温下での酸素および湿気への曝露を低減することで侵食から保護します」と、**Mike Rae**（Hiab Moffettの北米技術製品サポートマネージャ）は述べています。米国では、貨物の配送距離が長いことが多く、保守間隔が実稼働時間よりも暦時間に、より強く影響されます。

「当社の各TMFLは、グリースガンおよびグリース管により潤滑されており、マシンはそのライフサイクルをよい潤滑状態で開始しています」と、McFaddenは述べています。全グリースポイントに関する潤滑ガイドは、操作マニュアルで利用可能です。

アリゾナまたはアラスカのような場所で作業しますか？ 現地の気候を組立工程中に考慮し、新しいHiab Moffett TMFLは、各環境と特定の作業条件に対して適切なグレードの油圧オイルを適用する必要があります。

「オペレーターマニュアルから学ぶことのできる内容、特に、安全性、運転技術、トラックの取付およびすべての重要な保守に関して、驚くことと思います。全Hiab Moffettにはマニュアルボックスがあります。しかし、残念なことに、使われて数年経つマシンに、未開封のオペレーターマニュアルを見ることがあります。また、稼働率を最適化し、ランニングコストを低減する方法を学ぶことができます。17年間もうまく保守され、完全に動作するマシンを見ることがあります」と、McFaddenは結論します。■



カーゴテックの生産システム — 顧客価値を推進します

カーゴテックアイルランドは、誰もがビジネスの効率化に直接貢献できることを証明するための計画を伴うリーン生産に向かって旅を始めました。目標は、すべての顧客が競争力のある価格で、市場投入までの時間の改善と最適な製品品質の恩恵を受けることを保証することです。

文 Paul Golden 写真 Barry Cronin

すべてのメーカーは、無駄、すなわち付加価値を生まないすべてのものを、排除することで、生産時間を短縮し、コストが低減しながら、品質を向上させることができることを理解しています。これらの改善を引き出す鍵は、自身の地域で無駄を特定し、排除することに全社員が関与するよう奨励することです。

2009年、カーゴテックは、日本企業を世界で最も収益性の高い自動車メーカーにしたトヨタ生産方式をモデルにするカーゴテック生産システム (CPS) を発表しました。

CPSの背後にある当初の動機は、世界的な経済危機を反映し始めた厳しい市場環境に対応する必要があったことと、**Marc Byrne** (Dundalk マルチアセンブリユニット (MAU) 生産エンジニアリングマネージャ) は説明します。「当社は、世界中のすべての場所にまたがって測定し、改善するためのアプローチを標準化することを決定しました。その結果、毎月

末ごとに生産 MAU は同じ基準を用いて報告されることとなります」。

可能性のロックを解除する

Paul McConologue は、2011 年中ごろカーゴテックに入社した Dundalk MAU (荷役供給) 担当取締役です。彼は、CPS の目標は、すべてのビジネスプロセスで改善を行うために、カーゴテック社員すべての努力を構造化することであると述べています。

「改善を行うには様々なアプローチがあります。しかし、リーンアプローチは、時間の試練に耐えています。それは、一見単純であり、すべてのレベルで決定されたリーダーシップを伴います。また、正社員および非正社員両方の自身の仕事分野の改善に関して全労働力の建設的な関与を可能にします。」

スループットと品質が大幅に向上しており、当社は、常にフィードバックを現場の従業員に尋ねています」と Marc Byrne は述べています。





「品質の欠陥は直ちに発見できるため、それらが次のプロセスへ進むのを防ぐことができます」。

顧客は、カーゴテック内部にいても、当社製品またはサービスの最終エンドユーザーであっても構いません。「この『顧客第一』の考え方は、顧客定義された価値への深い理解を確実にし、当社プロセスの改善の最初のステップです。たとえば、製品開発の場合、当社は、顧客ニーズと当社が顧客に価値を、会社に繁栄をもたらしたいと思う場合、効果的な製造が可能であることの両方を満たす製品設計を提供する必要があります」と **Kevin Turnbull** (Dundalk 研究開発担当取締役) は述べています。

Dundalk のカーゴテックの課題は、この新しいアプローチを新しい施設にではなく、既存施設に実装することでした。と、HR ビジネスパートナーである **Anna McSorley** は説明します。「当社には、10 年以上会社で勤務している従業員がたくさんおり、物事を一定の方法で行うことに慣れていました。したがって、このシステムが進むべき道である理由を説明しなければならませんでした」。

他の多くのメーカーは、独自のオーダーメイド生産システムを作成しようとしました。しかしながら、これらの努力は、多くの場合、限られた成功しかしていません。このことこそ、McConologue が、会社と社員の両方に利益をもたらすものだということをカーゴテックの全社員が理解し、プロセスを受け入れるべきであると革新する理由です。

5S — 規律を奨励するための 5 つのステップ

追加の管理研修は、2011 年 9 月に開始されました。次のステップは、MAU スーパーバイザである **Derek Gillespie** と一緒にアセンブリ内の 5S イベントを開催することでした。5S

職場の組織化方法は次のように設計されています：

- 作業領域で付加価値作業をサポートする、必要項目のみを許可する（「ソート」）
- 標準化とビジュアルコントロールを確保する（「矯正」）
- 顧客の需要を満たすためにできるように清掃を通じて点検する（「掃引」）
- リーダーが最初の 3S の例、およびサポートを実施することによって導くことができるようにする（「標準」）
- 仕事のあらゆる面で規律を奨励し、無駄を追い出す（「維持」）

「5S は広く誤解されているツールです。Gillespie と彼のチームは、この基本的な規律の正しい適用について施設の残り部分のための道を切り開いています」と McConologue は続けます。「他の MAU およびテールリフト工場と連携して、2 週間のトレーニングコースに参加するために、最初の 4 人（生産マネージャ、生産スーパーバイザ、リーンエンジニアおよび店舗スーパーバイザ）を招待しました。目標は、同じリーン言語を話す人物を会社全体で 25 人作ることでした」。

Byrne は、5S は非常に貴重であることに同意します。「当初はいくらか抵抗がありました。しかし、社員が、現場が明らかに改善されているのを見ると、考え方が変わりました。作業領域が明るくなり、必要とするツールを見つけ易くなり、すべての物があるべき場所に置かれるようになったため、健康と安全、生産性が向上しました」。

一つの最良の方法

McConologue は、チームは自分たちの仕事を「一つの最良の方法」に標準化するように奨励され、その後、管理された問題解決プロセスを使用してさらにそれを改善するように奨励したと指摘します。「当社には、改善作業を監督し、サポートするチームがあり、当社はこの重要な変更を管理するための正式なプロセスを使用しました。専用リーン室により、努力を集中する



「鍵は、その作業が実行されている場所（フロントライン、財務、研究開発、供給またはサービス）に関わらず、直接最高の顧客利益のために仕事に関わる全ての人々の可能性のロックを解除する方法を見つけることです」と Paul McConologue は述べています。

ことができ、8D プロセスを包含するように問題解決アプローチを再定義しました」。

8D（8つの規律問題解決方法）の目的は、問題の徹底的な分析に基づいて恒久的な是正措置を確立することにより、繰り返し発生する問題を識別、是正および解消することです。プロセスは、その根本的な原因を決定することにより、問題の原因に焦点を当てています。

8Dの実装は、品質管理マネージャである **Adrian Murphy** によって推進されましたが、8Dはこのような問題を解決する上で非常に重要でした」と、Byrne は述べています。「それは事実上将来に対して万全な問題解決プロセスを備えています。当社は今、一連の規則に従って問題の原因を探っています。このプロセスは、当社がそれを恒久的に解決できることを意味します」。

従業員との良い関係が不可欠です

CPSは、経営幹部主導のイニシアチブです、と McSorley は説明します。「Paulは、簡単に従業員が正しいことを行うために当社はそれを作る必要があったと感じました。そこで、彼と私は、率直に現場の従業員が話すことができ、自分の意見を表現することができる「スキップレベル」の総会を開催しました。従業員の

関係は、システムの成功に不可欠であるので、当社は完全に組織化されました。そして、ビジネスの各部門は形質転換され、他の部門はこれを見て、同じレベルに達することを熱望しました」。

「5Sは、改善努力を保持する接着剤です」。

バリューストリームマッピング（無駄を識別するために使用するリーン製造技術）は、機械の納品に至

るまでの初期の顧客接点から何が起るかを理解し、最終的に標準化され、改良されたプロセスを作成するために使用する別のツールです。

誰もが違いを生むことができます

すべてのこれらの取り組みの結果、Dundalkの内部品質のパフォーマンスが改善されました。製品品質が向上し、リードタイムが短縮されました、と Byrne は説明します。「当社は、常に良い製品を生産しています。しかし、常に顧客への納入や品質を改善する方法を探しています。品質欠陥を直ちに発見できるため、当社はそれらを防ぐことができます」。

「『無駄の排除のあくなき追求によりコスト効率を実現する』は、当社ミッションステートメントの一部であり、当社は顧客訪問の増加に気づきました」と彼は付け加えます。「当社は、

全訪問者、顧客そしてサプライヤーをショップフロアに案内します。なぜなら、マシンがどのように作られているかを見てほしいですし、当社が従業員と顧客の相互交流を奨励していることを彼らに確認してほしいからです。また、従業員は顧客とのフィードバックセッションにも招待されます」。

チームリーダーである **Joe McGeown** は、作業環境は彼の入社後 20 ヶ月で変わったと言います。「私は生産に携わった経歴があるため、カーゴテックに入社しましたが、リーン製造技術の経験がありませんでした。私たちの職場の編成方法を変更することにより、本当に誰もが信頼できるプロセスを使用して、顧客と品質を生産することの重要性のために作業し、焦点を当てる方法について考えさせられました。従業員は意見を述べることに前向きな提案を出すよう奨励されます。そのうちのいくつかは、既に価値を付加し、生産プロセスから無駄を排除しています」。

彼は、CPSは、従業員が業務の効率化に直接貢献することができるように感じることを奨励し、幸せな職場を構築したと考えています。「この会社には、才能豊かな社員が大勢います。より良いプロセスを開発することにより、当社はすべての顧客が最も競争力のある価格で、市場投入までの時間の改善と最適な製品品質の恩恵を受けることを保証しています」。 ■



需要：オーストラリアにおける天然ガスの販売を推進します

文 Leena Lavonius 写真 Carlos Rolfo

カーゴテックは、ガス抽出と採鉱プロジェクト用 Hiab 荷役機器によって、好景気のオーストラリア液化天然ガス業界で記録を残しています。

好況期には迅速な行動を必要とし、需要が高まることは、結果を出すというプレッシャーを伴う成長機会があることを意味します。

オーストラリアのガス業界は巨大であり、低公害燃料の世界的な需要の上昇に伴って急速に拡大しています。オーストラリアのガス生産者は、石炭火力発電から天然ガスに切り替えることにより、温室効果ガス排出量を最大 70% 削減することができると思っています。

オーストラリアにおける天然ガスおよび特に液化天然ガス (LNG) の抽出は確かに急

速に成長しました。2000 年にオーストラリアは、年間 690 万トンの LNG を生産していました。2009 年に 1,670 万トンになり、2020 年までに年間あたり 6,000 万トンに達すると予測されています。

オーストラリアは高い目標を目指しています

LNG は、 -161°C の温度に冷却された天然ガスです。体積のほとんどが気体メタンなので、この温度で液化され、タンカーでの輸送が容易になります。

オーストラリアは現在、世界第 5 位の LNG 輸出国ですが、主要なガス抽出プロジェクトが生まれており、次の十年で世界有数の生産国になる可能性があります。▶

ガス埋蔵量は、沖合ではない場合、大陸の遠隔地で主に発見されています。

現在、オーストラリアの主要な LNG 輸出相手国は、日本、中国、韓国ですが、新興インド経済は、ガス生産のための巨大な新市場として浮上しています。

世界は LNG を必要としており、オーストラリア企業は迅速な提供を熱望しています。

しかし、速度は、しばしば地上の条件によって損なわれます。ガス埋蔵量は、主に大陸の遠隔地で発見されています。沿岸付近でない場合、抽出サイトから供給サイトまでを接続するパイプラインは、数百キロメートルになる場合があります。

カーゴテックは、オーストラリア付近のガスの抽出と採鉱のプロジェクトで使用される Hiab 荷役機器で業界における重要な役割を果たしています。

エネルギーへのパイプライン

Howell Davies は、資源の豊富なオーストラリアのクイーンズランド州に拠点を置き、石油会社およびガス会社用にパイプラインを構築する溶接会社です。その顧客名簿には、オーストラリア最大のエネルギー供給会社の一部が含まれています。

Howell Davies は、以前より Hiab クレーンを使用していました。そして今年、ガスパイプラインの構築に使用する Hiab XS 166 E-5 HiDuo ローダークレーン 11 台を購入し、所有機器を増やしました。

このクレーンは、車両トラックとして主に使用されますが、Howell Davies は、ピックアップキャリー操作用クレーンを必要としており、Hiab は良い選択だったと感じています。

Jim Macdonald (Howell Davies オペレーションマネージャ) は、同社は作業現場でのパイプライン溶接用クレーンを購入したと述べています。クレーンは、Mooroorka 製ゴムトラックキャリアに搭載されており、パイプラインに沿っ

て溶接小屋を移動することができ、溶接装置をパイプラインの一つに継ぎ目から別の継ぎ目に運んでいます。

継ぎ目は 18 メートル離れており、クレーンは、4 ～ 5 分ごとに 1,500 キロの荷重を持ち上げ、降下させます。10 時間の作業時間の間に、各クレーンは、120 回の荷重リフトを行います。

「当社は、実際にクレーン機能をピックアップキャリーに変更しました。作業に必要なエンジニアリングオプションは多数ありましたが、そ



オーストラリアのカーゴテック

- カーゴテックは、1972 年からオーストラリアでマシンを供給しています。
- 当社の従業員数は、120 人です。
- 当社の現地本社はメルボルンにあります。
- カーゴテックには、国内に 19 のディーラーがあります。

れらは適応できることが証明されました」と Macdonald は述べています。

顧客の問題を解決します

Hiab 社代理店の Pacific Materials Handling の製品スペシャリストである Shane Whelan は、Howell Davies からの最初の問い合わせを受け、何が必要かをよく理解して開発しました。収集した情報から、彼は、Howell Davies の要求を満たすための適切なソリューションを考え出すことができました。

彼は、Howell Davies が必要とする構成により、Hiab が扱うシーリングには、両サイドから多くの研究を必要としたと述べています。

「正しい装備と安定性を得る必要があり、最初の会話から 3 ヶ月間の長いプロセスでした」と Whelan は述べています。

「当社は、顧客が必要とし、すべてのオーストラリア規格に準拠したクレーンを受けとったことを確認しました。私は、販売だけでなく、顧客の問題を解決するため顧客に寄り添っていたいことを誇りに思っています」。

Howell Davies が現在クイーンズランド州の田舎に構築している LNG パイプラインは 380 キロメートルの長さがあり、これはクレーンが長い距離を移動する必要があることを意味します。

パイプライン建設にリフトを使用します

Macdonald は、Hiab XS 166 モデルの能力は、パイプライン建設業者にとって特別なリフトになった、と語ります。

「当社は、厳しい天候やその他の問題によって引き起こされる遅延を除き、このプロジェクトのために 300 日の予算を計上しました。したがって、タイトなスケジュールです。当社は、信頼できる装置を必要としています」と Macdonald は述べています。

その要件は、Howell Davies が Hiab クレーンに変更した主な理由の一つでした。「当社は、本当に作業負荷を扱うことができるマシンが必要です」と Macdonald は述べています。

「また、洗練されたコンピュータシステムが決定的な要因であるだけでなく、当社の要件を満たすクレーンの適応でした。マシンは本

当に汎用性があります」。

このほか、Howell Davies が購入を決定した要素は、機器のバックアップサポートと保守でした。

「当社は部品が必要な時に迅速に入手でき、完全にバックアップされています。一部のメーカーではそれが大きな問題です」と Macdonald は述べています。

「修理が行われるまで長時間を待つことは、当社の業界では受け入れられません」。

遠隔 — 問題なし

Howell Davies が購入したマシンは Pacific Materials Handling によって保守され、また、交換部品も必要な時に提供されます。

Whelan は、クレーンの問題は電話による技術サポートで解決できることがあります。必要に応じて、サービス技術者をクイーンズランド州全域の遠隔地に派遣することができます。

面積が欧州の大きな国ほどもある州では、バックアップサポートおよび保守は、遠隔地で作業する企業にとって非常に重要です。

「当社従業員は、多くの場合、採掘現場に到達するために6時間以上運転します。そして、顧客が保守および部品を必要とするとき、できるだけ早くそこに到達できるようにします」と Whelan は述べています。

Howell Davies が Hiab クレーンを選んだ時、迅速な提供という Hiab のコミットメントは、競合他社より Hiab を選択する大きなポイントになりました。「当社は、9月5日の開始のこの最新 LNG プロジェクトに8月中旬に合意しました。

「当社は部品が必要な時に迅速に入手でき、完全なバックアップ体制ができています」。

したがって、本当に遅延させる余裕がありませんでした」と Macdonald は述べています。

オーストラリアパシフィック LNG プロジェクトは、中央クイーンズランドの炭層ガス田と Gladstone に LNG 施設で建設される東海岸が結ばれます。

プロジェクトは、2014年に操業を開始し、その翌年に輸出用として LNG を初出荷する計画です。

Howell Davies の 160 名の従業員は、今後数ヶ月間非常に忙しくなります。プロジェクトを予定通り完了させるため、それらのマシンが、最大の課題であるに違いありません。

安全性が不可欠です

オーストラリアのエネルギーと鉱業が拮すれば、カーゴテックにとってこれらの産業分野は重要なビジネスエリアになります。

「鉱業と産業を支えるサービスは、今や当社事業の重要な部分を構成しており、本当の成長市場です」と Steve Coonan (Cargotec Australia の荷役部門国内販売マネージャ) は述べています。

Coonan は、カーゴテックは毎年、鉱業関連の企業に数百台のローダークレーンを販売していると付け加えます。

彼は、安全はこの分野の企業の成功に大きな役割を果たしていると述べています。

「実際に鉱業会社のキーワードは安全です。すべての産業における企業は、安全性が不可欠であると言いますが、鉱山企業にとって、それは単に言葉ではありません。当社は、最も

「迅速に結果を出す必要がある企業は、信頼性の高い機器を必要としています」。

安全に使用できると確信できるマシンが求められているといういつも聞いています」と彼は述べます。

「分野が活況を呈しているのも、彼らは怪我やオペレーターの操作ミスによる停止時間を最小限に抑えたいと思っています。結果を迅速に提供する必要がある企業は、信頼性の高い機器を必要としています」と Coonan は強調します。

信頼性を確保するため、カーゴテックはディーラーネットワークを利用して、現地で保守を行います。

Coonan は、オーストラリアで販売されるほとんどの車両クレーンは、必要に応じて調整することができる比較的標準的なセットアップであると述べています。カーゴテックのディーラーは、クレーンを在庫に保持し、迅速納入を保証します。また、顧客がニーズに合わせて製造された特殊な装置を得ることができます。

好況な状況では、時間はお金に同等です。Hiab のディーラーはこれを認識し、それに対応します。

「当社は、フルサービスを提供しているため、顧客はちゃんと動作するクレーンを持っていることを認識し、また、当社はそれが継続するように保守します」と Whelan は語ります。

「それが、Hiab が売れる理由です」。



協力の 50 年

高性能 Hiab ローダークレーンは、完全に Cera ファミリーの期待を満たしており、同社は 50 年間 Hiab を選択し、現在でも継続しています。

文 & 写真 Sara Delmedico
多くのカーゴテック顧客にとって、Hiab ローダークレーンは、単なる動作機器以上のものです。それらは、しばしば主要な投資であり、全体の作業活動が発展するための不可欠なツールです。端的に言えば、クレーンは「労力」です。運輸会社である Cera ファミリーにとって、クレーンは、常に事業の中心です。同社は、イタリアやヨーロッパ各地で自動機械の輸送を主に扱っています。これらの大型機械は、様々な産業分野で使用されています。

成功物語

「50 年前、私がビジネスに入った時、私はすぐに Hiab ローダークレーンを使用することを決定しました。それは、Fiat 650 トラックに搭載された 4 トンメートル能力のある Hiab 172 でし

た。現在のクレーンに比較して、それは、本場にシンプルな設計ですが、その堅牢性と機能は完全に私のニーズに合致していました」と **Armando Cera** (**Roberto** の父、現在 3 人の従業員の助けを借りて運送会社を経営) は述べています。

同社は、Armando Cera が事業の開始を決定した時、イタリア北部の Bologna 近くの小さな町 Calderara di Reno に 1962 年に設立されました。20 数年後、彼の息子である Roberto が関与し、1984 年に彼自身の会社である Cera Roberto Autotrasporti を設立しました。

2 つの会社は並んで操業しました。Armando が引退

した後、彼の息子が装置を購入しました。Roberto と彼のスタッフは、5 社の大型固定客を扱っており、毎年 220,000 キロメートルを移動します。

Ace カスタマーサービス

「また、当社はマシンツールおよび他の装置を扱っています。たとえば、当社は、最近船を輸送しました。顧客は何年も前から当社を知り、当社のプロフェッショナルリズムと当社が

最新機器を使用していることを知っており、これらの理由により、当社は大きな尊敬を得ています。当社が構築した良い評判により、当社は成長しており、現在、スペイン、イギリス、デンマークなどの多くの欧州諸国に

適切なケアは、すべての操作の基本となるものです。





Roberto Cera と彼の父 Armando (25 年前)

輸送しています」と Roberto Cera は述べています。

通常、Cera が輸送するマシンは非常に価値が高く、数トンの重量があるにも関わらず、適切なケアは、荷積み、輸送および荷卸しに関連するすべての操作の基本となるものです。「Hiab クレーンは非常に力強いツールです。しかし、この力は、当社の仕事を遂行するために必要なすべての操縦を行うための感度と精度を犠牲にしています。また、リモートコントロールにより、当社は総合的で安全に作業することができ、本当に便利なツールです」と Cera は述べています。

時間が経つにつれて、彼らが扱う機器は、ますます洗練され、重くなっています。その結果、高性能機器を所有することは、Cera Roberto Autotrasporti にとり不可欠です。実際、カーゴテックは、常に顧客ニーズに気配りしており、この理由により、研究開発は継続的な技術革新に焦点を当てています。

オールラウンドの信頼性

しかし、本当に信頼できるパートナーは高いレベルのサービスを提供する必要があります。「当社は、顧客との信頼関係を維持しています。彼らは当社が頼りになることを知っており、当社は彼らのニーズを満たすために全力を尽くしています。この信頼を長年にわたって成長させ強化してきました。そして、当社のディーラーのおかげで、それは地域の基準点になってい

ます」と **Andrea Perone** (カーゴテックの販売後テクニカルサポート) は述べています。

「当社は、Ceras の一生を知っています。私の父は、Armando の事業の黎明期以来、彼らに車を販売してきました。現在、私の兄弟と私が、Roberto 向け車両を提供しています。車両のフィッティングはカスタマイズされており、それらは各顧客のため

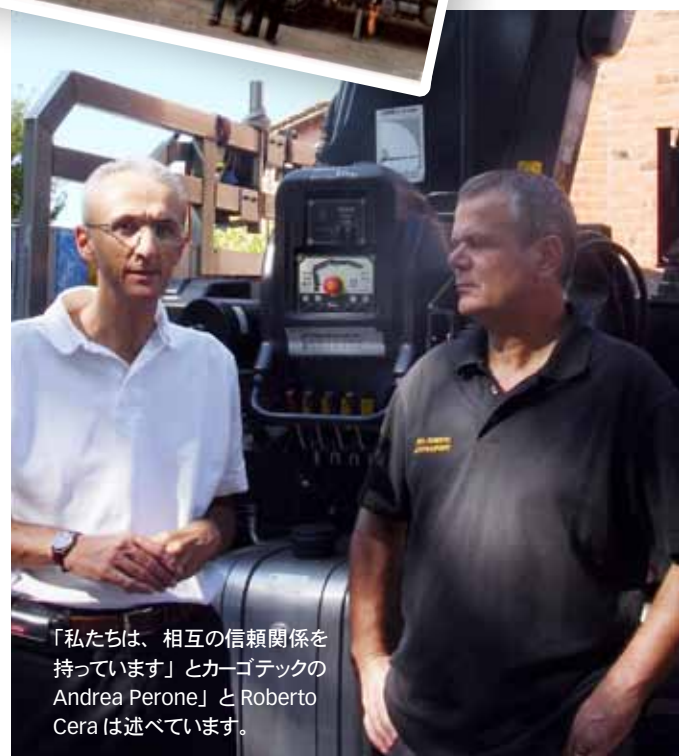
に特別に設計されています。そして、それらは正確に特定のニーズを満たす必要があります。更に、顧客は、いつでも、どんな

必要性のために利用可能であるために当社のカスタマーサービスを利用できることを知っています」と **Fausto Brusa** (Brusa Srl の共同所有者、Ceras に約 50 年間車両を提供している) は述べています。

50 年間そして信頼 ...

Ceras とカーゴテックの関係は時間が証明しています。平均して、同社は、4 年ごとにクレーンを交換し、Hiab を選び続けてきました。「私は常に Hiab クレーンで作業してきました。問題はなく、変更する理由はありません」

Ceras とカーゴテックの関係は時間が証明しています。



「私たちは、相互の信頼関係を持っています」とカーゴテックの Andrea Perone」と Roberto Cera は述べています。

と Roberto Cera は付け加えます。

「昔、私は、他社のクレーンを使う会社で働いたことがあります。しかし、Hiab のクレーンが最高であると言わざるをえません」と **Lucio Marchesello** (Cera Roberto Autotrasporti 従業員) は説明します。

現在、Roberto Cera の会社は、Hiab XS 166 から Hiab 800 までの 4 台のクレーンを所有しています。同社は既に別の、より高性能なクレーンの購入を計画しています。■



あなたの事業に認定付きリフトを与えてください Hiab ソリューション

モバイル昇降作業台 (MEWP) 付き Hiab クレーンを装備して、事業を拡大するユニークな機会を得てください。当社は、工場から直接、クレーンや人員用つりかごに対する包括的な認定ソリューションを提供します。そして、それは、EN280 規格に完全に準拠しています。これは、直ちに作業して収益を開始できることを意味します。

今すぐ、ビジネスチャンスを広げてください。詳細は、お近くの Hiab ディーラーにお問合せください。

カーゴテックは、陸上、海上を問わず、貨物が移動する所ならどこでもその流れを改善しています。カーゴテック子会社のブランドである Hiab、Kalmar および MacGregor は、世界中で貨物および貨物取扱いソリューションのリーダーであると認められています。